

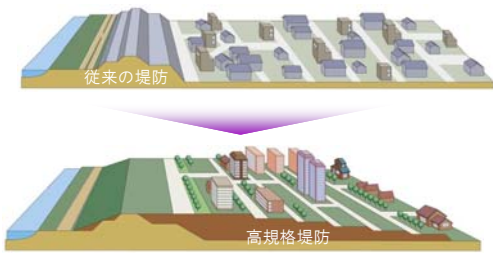
安全な都市をつくり 避難地や地域交流の拠点としても活用



小松川地区高規格堤防(東京都)

高規格堤防はまちづくりと共同で実施して、安全で快適な空間を創出

避難地や地域交流の拠点としても活用される高規格堤防



市街地再開発事業と共同で実施した 小松川地区高規格堤防

この場所は、『命を守る場所』

～小松川平井地区連合町会 谷川貞夫会長のお話～

「昔は雨が降ると堤防が心配になって見に来たもんだ。この高規格堤防ができて、堤防が切れる心配が無くなった。高規格堤防は避難地にもなる。防災力は格段に向上した。ありがたい。ここでは、毎年3000人が参加して防災訓練をやっている。桜の時期には、お祭りもやるようになった。この場所は、命を守るために、そして住民の憩いと安らぎのために必要な場所なんだよ。大事にしたい。」



小松川高規格堤防上で話す谷川会長

整備前

荒川沿いに工場や木造住宅等が密集し、地盤の低かった「ゼロメートル地帯」



木造住宅等が密集していた整備前の小松川地区

整備後

市街地再開発事業と併せた高規格堤防整備により安全で快適なまちに生まれ変わる。



高規格堤防整備と併せて広大な公園や中高層住宅等が整備



地域で自主的に防災訓練を実施



高規格堤防上は、広大な公園



地域の交流が促進され、住民に憩いと安らぎを提供



公園は災害時に20万人の避難場所、防災拠点として活用



ゼロメートル地帯を守っていた高さ約10mの荒川の堤防



高規格堤防の整備によって市街地側は堤防とほぼ同じ高さに盛土



整備前は木造住宅等が密集し、道路整備が遅れ、生活環境が悪化



まちづくりとあわせて、公共施設等も整備



位置図